

「腹腔鏡下腹壁ヘルニア修復術の短期成績」に関する研究

1. 研究の対象

2014年1月～2020年12月に当院で診断され、腹腔鏡手術を受けた腹壁ヘルニアの方

2. 研究目的・方法

ヘルニアとは体の中にある臓器などが本来あるべき部位から「脱出・突出」した状態のことをいい色々な種類がありますが、その中でもお腹のヘルニアの場合、治療にはポリプロピレン製の人工的に作られた形状記憶の膜で筋肉の穴をふさぐメッシュ法という方法がよいとされています。

しかし、手術の際にその人工膜（メッシュ）をお腹のどの場所に置くのがよいかまだ手術方法が確立していません。

当院で2014年以降に導入した腹腔鏡下腹壁（瘢痕）ヘルニア（お腹のヘルニア）に対する手術の内容や再発したかどうかなどを検討することで今後の腹壁ヘルニア治療成績の向上を目指します。

情報の収集には当院電子カルテの情報、手術台帳等を使用します。

研究期間は病院長承認日から2021年6月30日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、手術治療内容、再発の有無 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

研究責任者

磐田市大久保 512-3 TEL 0538-38-5000

磐田市立総合病院 消化器外科 神藤 修